

ゼミ C 平成 26 年 9 月 21 日(日) 14 : 30 ~ 16 : 00

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	C 1	初めての言語調査 —マダガスカルからイースター島まで 西本 希呼 (白眉センター (東南アジア研究所) 特定助教)	本セミナー (連続 2 コマ) の後半 (ゼミ C) では、インド洋、オセアニアの海洋地域の言語を中心に約 100 の言語を取り上げる。講師が実際現地で調達した民芸品や写真や食料を見て、マダガスカルやタヒチ、東南アジア、イースター島等の言葉と文化、そしてそれらの人々の歴史的つながりを考察する。	参加型・講師との双方向コミュニケーション型・自由討論	保護者 参観型 ※ B 1 と連続して受講することが望ましい。 (1 コマだけの受講も可)
吉田	C 2	測地学 —重力を測って地球を探る 風間 卓仁 (理学研究科助教)	「測地学」は、地球の大きさや形を測定する学問です。今回は、測地学の観測で一般的な重力測定を皆さんに体験してもらいます。地球が私たちを引きつける力「重力」が、場所によってどれくらい違うのかを確かめます。この体験を通して、観測の重要性や地球の大きさを実感してみましょう。	実験	保護者 参観型 ※ A 2、B 2 と同じ内容
吉田	C 3	イマジナリー・キューブで 立体幾何を楽しもう 立木 秀樹 (人間・環境学研究科教授)	イマジナリー・キューブで遊びながら、立体幾何の不思議を体感し、その裏に存在する数学を考えましょう。イマジナリー・キューブを用いたパズルや「芸術作品」もお見せします。詳しくは、 http://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/~tsuiki をご覧ください。	講義・実習	保護者 参観型
吉田	C 4	英語の音楽性と英詩の世界 栗山 智成 (人間・環境学研究科准教授)	まず、英語という言葉の持ち得る音楽性について概観し、英語の音声面に注目する。次に、それが英詩においてどのように反映されているかを確認する。英語を音声として扱う練習方法も紹介し、受講者にも練習してもらおう予定である。	ワークショップ (演習)	保護者 参加不可
吉田	C 5	留学生と一緒に 世界の環境問題を考えよう 舟川 晋也 (地球環境学堂教授)	環境問題は私たちにとって国を越えた課題です。本ゼミではアジア・中南米からの留学生らが中心となり、海外 (特に開発途上国) の環境問題や解決に向けた研究や実践を紹介します。教員と留学生を交えた小グループに分かれ、自由に質問や議論をしながら、世界の環境問題について考えましょう。留学生による発表や留学生との対話は日本語 (もしくは通訳付き) で行います。	講義・グループディスカッション	保護者 参観型 ※ B 5 と同じ内容
吉田	C 6	行動することが学問になる 実践型地域研究 安藤 和雄 (東南アジア研究所准教授)	日本やアジアの中山間地農村の過疎問題、離農の問題、少子・高齢化の問題等々は「問題の分析と結論」という「説明的科学」では対応できない、行動する「創造的科学」が求められています。実践型地域研究という新しい「創造的科学」の試みを紹介します。	参加型講義	保護者 参加型
吉田	C 7	火山の噴火を見てみよう 鍵山 恒臣 (理学研究科教授)	世界のいろいろな火山噴火の映像をふんだんに見ながら噴火の不思議を考える。また、インターネットで京都大学の火山観測所や世界の火山観測所にアクセスし、火山活動について調べる練習をする。	講義・話し合い	保護者 参加型

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
宇治	C 8	樹木も昆虫も ナノファイバーでできている 阿部 賢太郎 (生存圏研究所准教授)	樹木の巨大な体も、昆虫やカニの堅い殻も、ほんの数 nm のナノファイバーによって支えられています。今、そんな生物由来のナノファイバーを使って様々な材料が開発され、私たちの生活をも支えようとしています。樹木や昆虫が持つナノファイバーっていったい何なのか、その秘密に迫ります。	講義・ 簡単な実験	保護者 参加型
宇治	C 9	農学：虫のお医者さんになってみよう 柳川 綾 (生存圏研究所助教)	昆虫病理の概略を、学問としての背景を踏まえて講義し、観察を通じて昆虫と昆虫病原性微生物の関係について理解を深め、昆虫の病気を診断できるようになる。	講義・ 顕微鏡観察	保護者 参加型
宇治	C 10	地震学 —過去の地震を調べてみよう 加納 靖之 (防災研究所助教)	地震は繰り返し発生する性質があることから、未来の地震とそれによる災害に対応するためのひとつの手掛りは、過去にどのような地震が起きたのかを知ることです。古文書や地質の調査など、実際に過去の地震を調べる方法とその成果について勉強します。	講義・実習	保護者 参加型
桂	C 11	放射能を知る ～身近な自然放射能の捕集と測定～ 秋吉 優史 (工学研究科助教)	放射能、放射線の性質を実際に体験して理解を深めることを目的とします。まず、サーベイメーターの種類と使い方を説明し、実際に操作して放射線の性質について学習します。次に身近な天然放射能である空気中のラドンを捕集し、時間と共に減っていく崩壊挙動をその場で測定します。また、霧箱を用いた放射線の観察やポスターを用いた講義などで放射能・放射線の知識を身に付けます。	実験主体	保護者 参観型
桂	C 12	虹の謎に迫る —光と波と、ついでに音!? 北村 恭子 (白眉センター（工学研究科）特定助教) De Zoysa Menaka (白眉センター（工学研究科）特定助教) 小石 かつら (白眉センター（人文科学研究所）特定助教)	雨上がりに空にかかる虹。嬉しい気分になりますね。そんな虹も、虹が七色に見える理由を知っていれば、皆さんで作ることができます。その秘密は、光が波である、ということ。このゼミでは、虹の謎に迫りながら、光の波としての性質を理解することを目的としています。さらに、その波としての性質は音にもあることを体感したいと思えます。	講義・実験	保護者 参加型

